

今年の秋の東日本大会は山梨県にて開催される。素晴らしいトレインと地図、そして地元を挙げた取り組みに期待が広がるイベントとなりそうだ。開催予定は2003年10月12日。

## お宝トレイン発見！

山道を登って行くと次第に雪道になっていった。地元の人が運転する車でなければ、これ以上進むのは躊躇してしまうだろう。谷から高原へと車が上がってゆくにしながら風景は変わり、整備された森林が目の前に展開するようになった。通行可能度の良い森の中に岩が多数あるのが林道からも良く見える。そして行きついた先は全国植樹祭会場跡地。オリエンテリング会場としては申し分ない広さと駐車スペースだ。山梨に私の知らないこんなトレインがあったのか・・・

「素晴らしいです。ここならオリエンテリング大会を行うには申し分ありません。あとはどんなオリエンテリングイベントをどうやって行うかということですね。」

山梨県須玉町の職員に向かってそう話したあと、より具体的な話になっていった。

## 町のチカラに

話は2001年夏に行われたクラブカップに遡る。長野県伊那市のクラブカップ運営を終えようとしたころ、知人より山梨県須玉町の職員の日向さんを紹介された。

「実は須玉町でオリエンテリングイベントを行いたいのですが、相談に乗ってもらえますか？ 本日は誘われて山梨チームの一員としてクラブカップに参加しました。なかなか面白いですね。この競技を須玉町でもやってみたいと思います。」

私は相談を引きうけたものの、時間が取れず、いつの間にか年を越し、2002年の1月になっていた。

町で考えるオリエンテリングってどんなものだろう？ オリエンテリングは町の中心街で行うものから、山岳や荒野で行うものまでさまざま。参加者だって保育園児からトップアスリートまである。予選決勝方式もあればクイズ形式まである。須玉町ではどのようなスタイルを望んでいるのだろうか？ そう考えているうちに、オリエンテリングの適応範囲、応用範囲の広さ、そのポテンシャルの高さをあらためて感じてしまう。

2002年に入ってやっと須玉町の丸茂さん・日向さんたちと話し合う時間が取れた。私は町の人を対象にした健康ウォークのようなものを想像していた。

しかし須玉町の日向さんたちは「トップアスリートの集まるスポーツイベント」の開催を希望した。彼らが用意していたトレイン候補地の行政図を見て驚いた。須玉町中心部より20kmも山奥に入ったみずがき山の山麓に広がるなだらかな高原の地図だったのだ。

「町の面積の85%は森林です。現在行われている町主催のマラソン大会に変わるようなスポーツイベントを探しています。できれば須玉町らしく森を使ったイベントにしたいと考えています。これを社会教育の立場から町の行政に提案してゆくつもりです。」

・・・これは本気だ。行政図を見る限りトレインだってとても素人さんが選んだものとは思えない。

「すぐに現地に行きましょう。詳しいコメントはそれからです。」

わざわざ松本まで来ていただいたのにそのまますぐに高速道路に飛び乗り、須玉の山奥を目指した。そうして目にしたのが例のお宝トレインである。

(木村佳司)



冬のみずがき山  
撮影：日向（山梨県須玉町）

急峻な岩肌を見せるみずがき山だが、山とは対照的に裾野は起伏が少なく美しい森が広がる。

こんな山奥に大規模大会の会場とアクセス道が確保できるのも、天皇出席の全国植樹祭会場跡地という資産を活用できるからだ。